

再 評 価 対 象
港 湾 関 係 事 業 概 要

平成18年9月

港湾空港部

目 次

1. 位置図	1
2. 再評価対象港湾関連事業一覧表	2
3. 再評価対象事業の評価書	3

中部地方整備局管内 港湾空港部直轄事業実施港湾



再評価対象港湾整備事業一覧表

事業名	事業進捗状況	社会経済情勢	費用対効果 (B/C)	再評価理由 (事業採択年)	対応方針 (事務局案)
<p>三河港 神野地区 多目的国際ターミナル整備事業</p>	<p>事業進捗率 54% 現在の主要整備内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 航路泊地 ・ 防波堤 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 完成自動車をはじめとする公共貨物の取扱量は、年々増加している。また、コンテナの取り扱いについてもH10年度の取扱開始以来順調な伸びを示しており今後も増加が見込まれる。 ・ 地元企業等からはコンテナ船の定期航路の就航・充実及び防波堤、航路泊地整備が求められており、増加する コンテナ貨物を安定的に取り扱うため、2基目のガントリークレーンの設置が求められている。 	<p>全体事業 1.2 残事業 1.7</p>	<p>再評価後、一定期間(5年)が経過している事業</p>	<p style="text-align: center;">継続</p>

平成18年度 継続箇所 港湾事業の評価書(原案)

事業名	三河港 神野地区 多目的国際ターミナル整備事業		
港湾名	三河港	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
市町村名	愛知県豊橋市		
事業採択年度	平成4年度	工事着手年度	平成5年度
再評価実施理由	再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業		
中心的施設	岸壁(-12m)		
関連施設	防波堤、航路泊地、ふ頭用地		
全体事業費	約 254億円		
事業の目的	三河港において取扱貨物の増大に対応し、物流の効率化を図るため多目的国際ターミナルの整備を進めている。		
再評価の概要	<p>1. 事業の必要性</p> <p>(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成自動車をはじめとする公共貨物の取扱量は、年々増加している。また、コンテナの取り扱いについてもH10年度の取扱開始以来順調な伸びを示しており今後も増加が見込まれる。 ・地元企業等からはコンテナ船の定期航の就航・充実が求められており、増加するコンテナ貨物を安定的に取扱うために、ガントリークレーン2基による荷役体制が求められている。 <p>(2) 事業の投資効果</p> $B/C[\text{全体事業}] = (\text{輸送便益} + \text{残存価値}) / (\text{建設費} + \text{管理運営費} + \text{再投資費})$ $= 385\text{億円} / 323\text{億円} = 1.2$ $B/C[\text{残事業}] = (\text{輸送便益} + \text{残存価値}) / (\text{建設費} + \text{管理運営費} + \text{再投資費})$ $= 220\text{億円} / 131\text{億円} = 1.7$ <p>(3) 事業の進捗率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成16年度に岸壁の暫定供用開始 ・事業進捗率は54%(事業費換算) <p>2. 事業の進捗の見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業を進めるに当たっての制約はなく、今後の進捗に問題はない。 <p>3. コスト縮減や代替案立案等の可能性</p> <p>航路泊地 : 効率的な浚渫土利用方法の採用によりコスト縮減を図る。</p> <p>防波堤: : 既往設計断面の見直しによるコスト縮減を図る。</p> <p>○対応方針(案)</p> <p>本事業を継続する。</p>		